

【資料6】地域部会アンケート

「学校のあり方に関するアンケート（地域向け）」の結果速報

1. 実施概要

- ・調査対象：大根地区住民
- ・回収数：98人
- ・調査方法：Google フォームを用いたインターネット調査
- ・調査期間：2025年9月15日（月）～10月3日（金）

2. 調査項目

- 1) 回答者の属性（年齢、性別、居住地、居住年数）
- 2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度
- 3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無
- 4) 新たな学校を整備するための適地
- 5) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見
- 6) その他、新たな学校づくりについて期待すること

3. 次頁以降の表記について

- ・図中の「N」は標本数を指します。
- ・単一回答の回答比率は百分率の小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。

4. 回答状況

1) 回答者の属性

問1：あなたの年齢を教えてください。(単数回答)

○回答者の年齢の構成比は以下のとおりです。

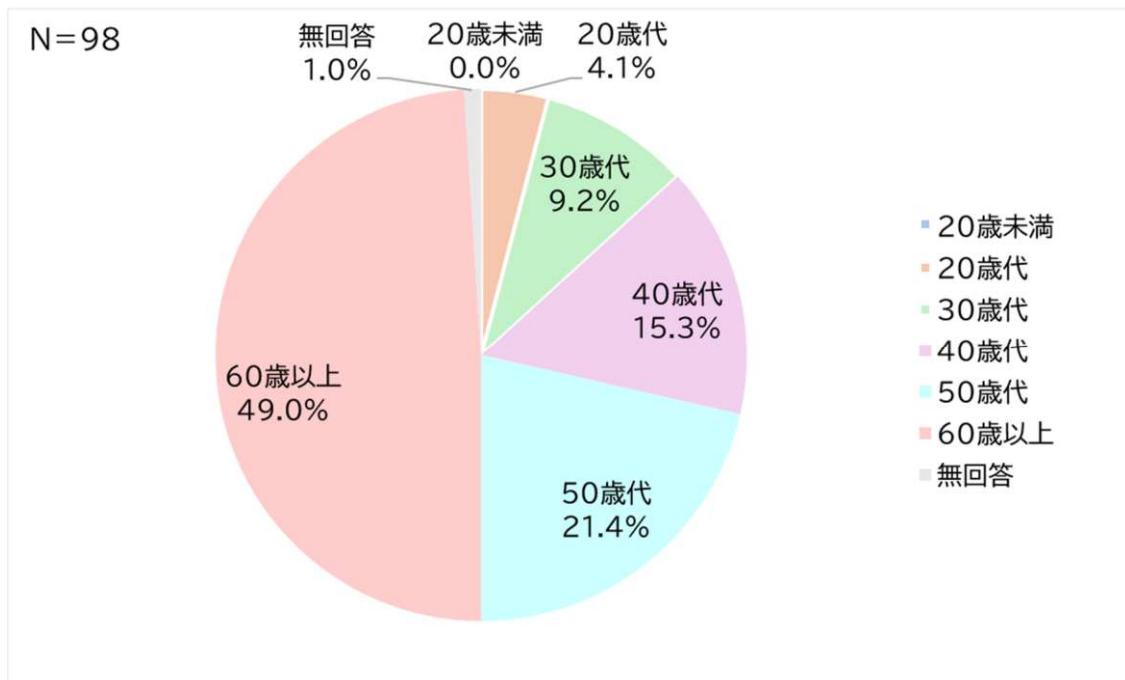


図10 回答者の年齢の構成比

問2：あなたの性別を教えてください。(単数回答)

○回答者の性別の構成比は以下のとおりです。

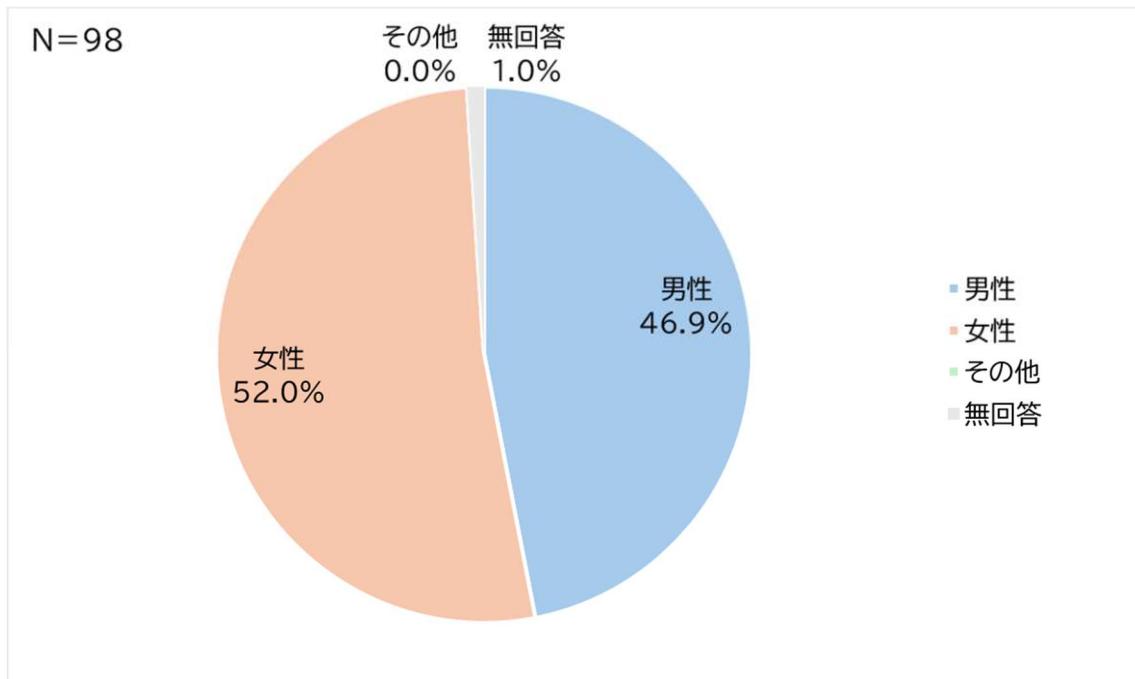


図11 回答者の性別の構成比

問3：あなたのお住まいはどちらですか。(単数回答)

○回答者の居住地の構成比は以下のとおりです。

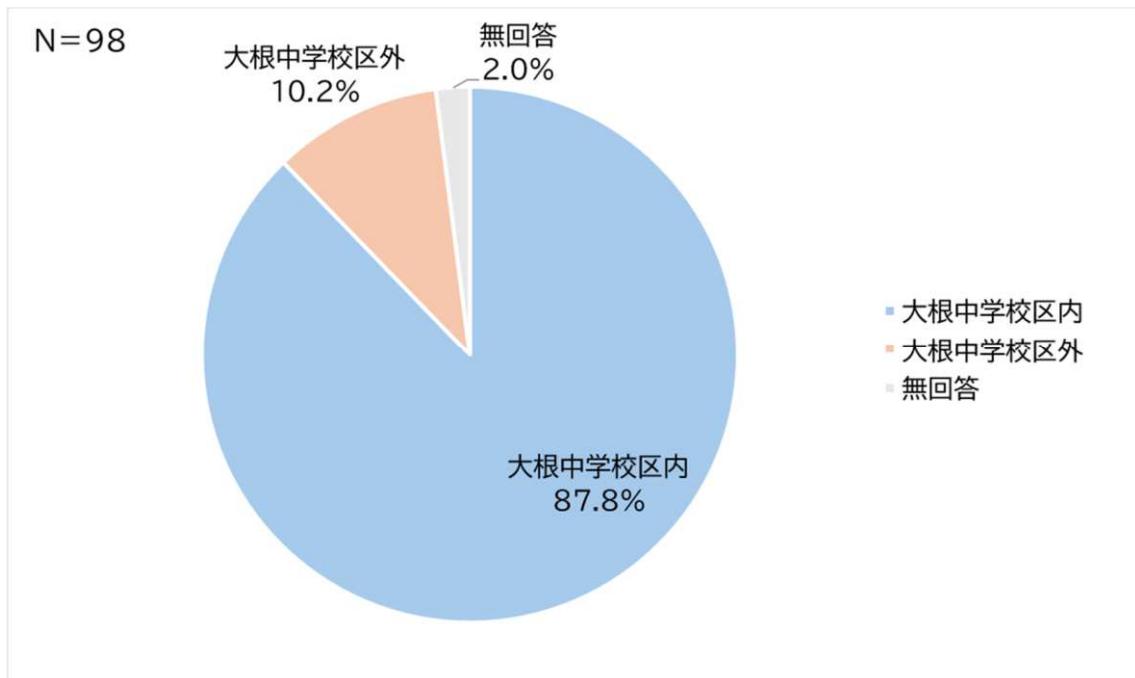


図12 回答者の居住地の構成比

問3－1：大根中学校区内にお住まいの方は自治会名を記入してください。(単数回答)

○回答者の所属自治会の構成比は以下のとおりです。

自治会名	回答数	自治会名	回答数
北矢名東部自治会	0	秦野マンション自治会	0
北矢名南部自治会	0	クリオ東海大学前壹番館自治会	0
北矢名北部自治会	0	南矢名オレンジヒル自治会	9
北矢名日の出自治会	2	興人南矢名自治会	0
北矢名第1自治会	0	南矢名字園台自治会	3
おおね台団地自治会	0	東海大学前パークホームズ自治会	0
南矢名上自治会	1	宿矢名自治会	17
南矢名中部自治会	2	下大槻第1自治会	2
南矢名下第一自治会	1	下大槻第2自治会	2
南矢名下第二自治会	0	下大槻南平自治会	1
南矢名下第三自治会	2	下大槻団地自治会	3
東映団地自治会	20	その他	7

問4：大根中学校区に何年居住されていますか。(単数回答)

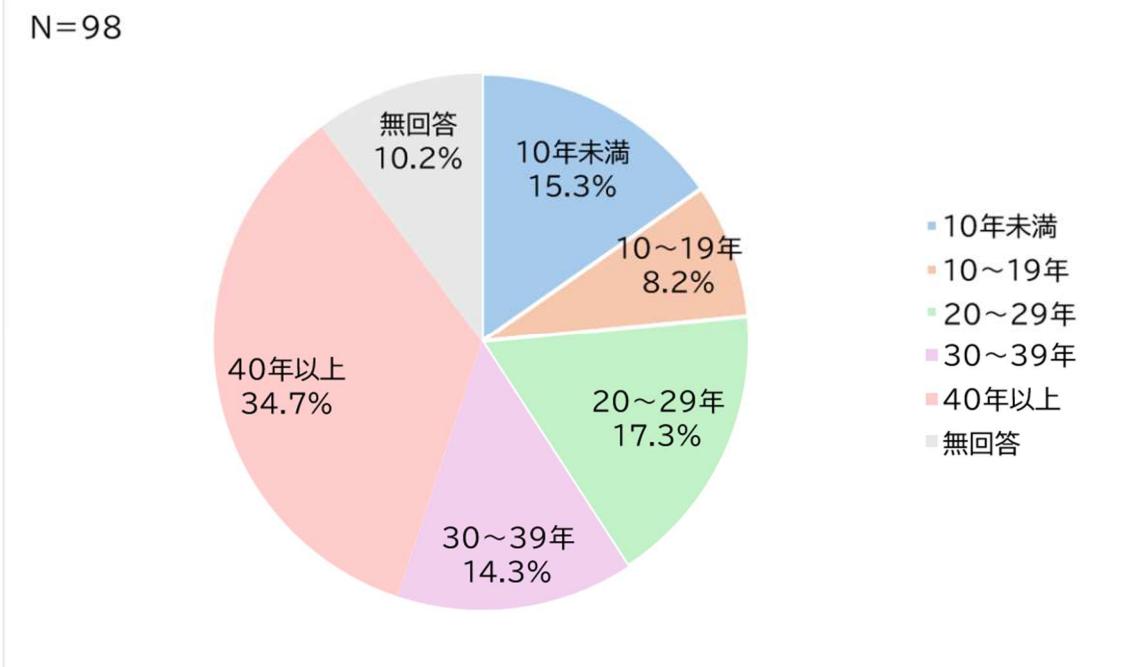


図13 回答者の居住年数の構成比

問5：冒頭のYoutube動画を見ましたか。(单一回答)

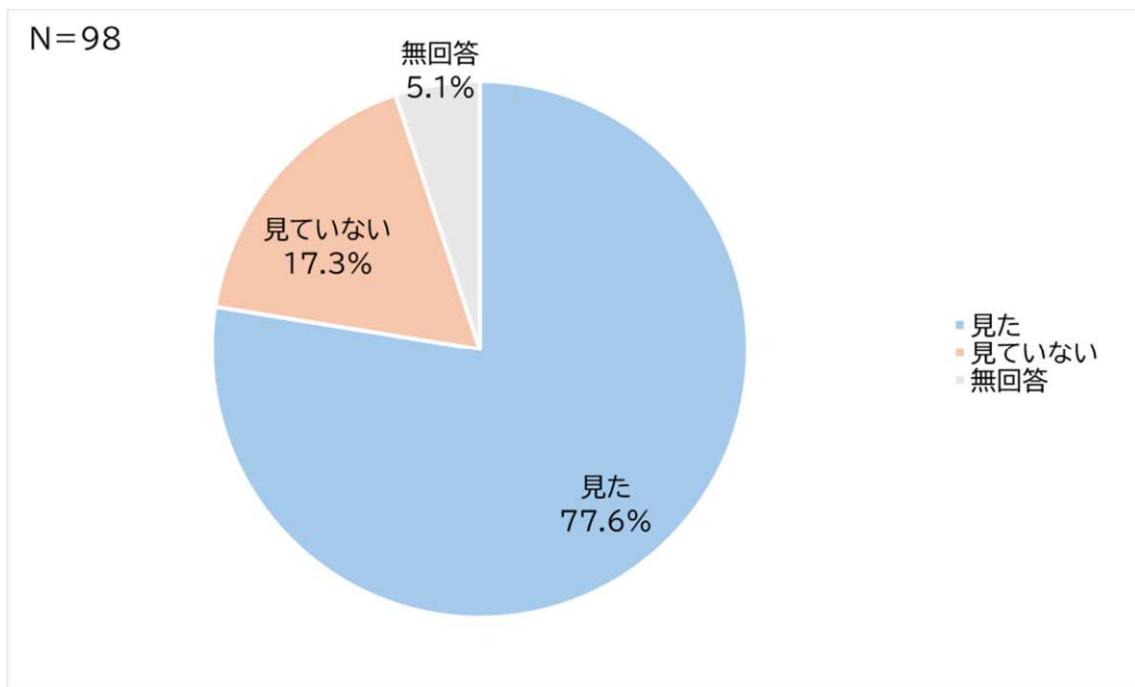


図14 動画「みらいの子どもたちと学校 ~大根中学校区の取組み~」の視聴状況

2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度

問6：大根中学校区の取組について、知っていましたか。（単一回答）

- 「全く知らなかった」が 66.3%と最も多くを占めました。
- 「知っている」は 17.3%、「噂で聞いたことがあった」は 14.3%に留まりました。

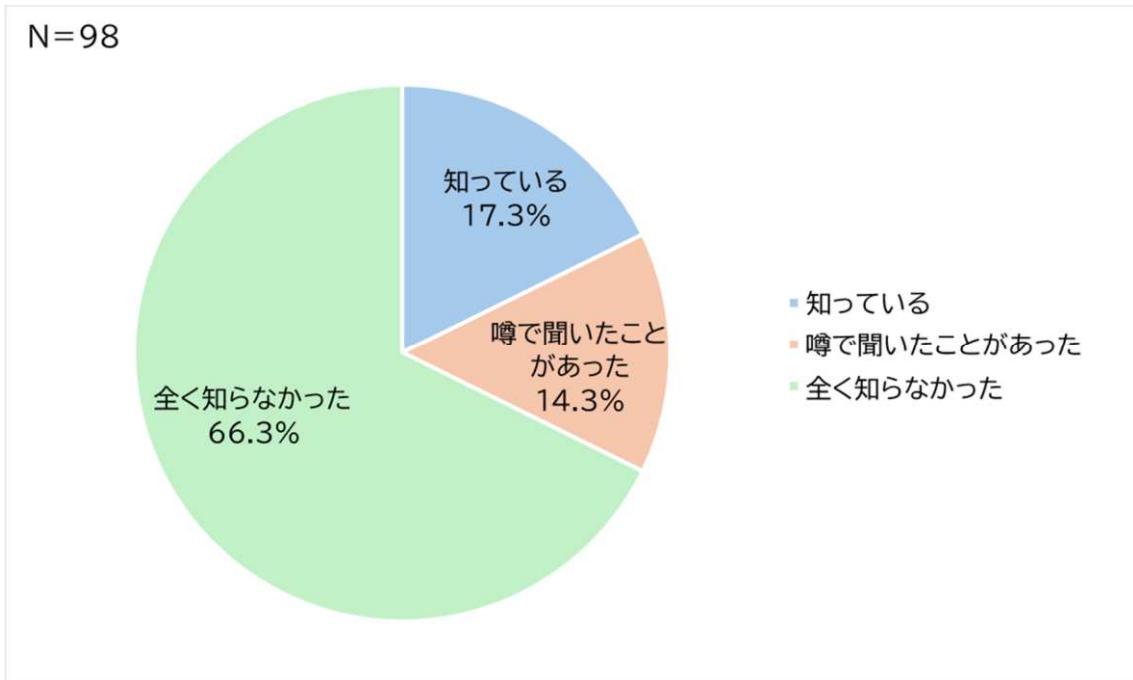


図 15 大根中学校区における将来の学校の検討状況の認知度

3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問7: 大根中学校区学校整備懇話会では、2030年代前半(今から9年後)までを目安に、広畠小学校・大根小学校・大根中学校の3校を一体的に整備し、義務教育学校とすることに期待する方向性が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。(単一回答)

- 「期待する」が40.8%と最多で、「やむを得ないと思う」も34.7%を占め、大半の回答者が義務教育学校の整備に肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「現状のままでよい」は10.2%に留まりました。

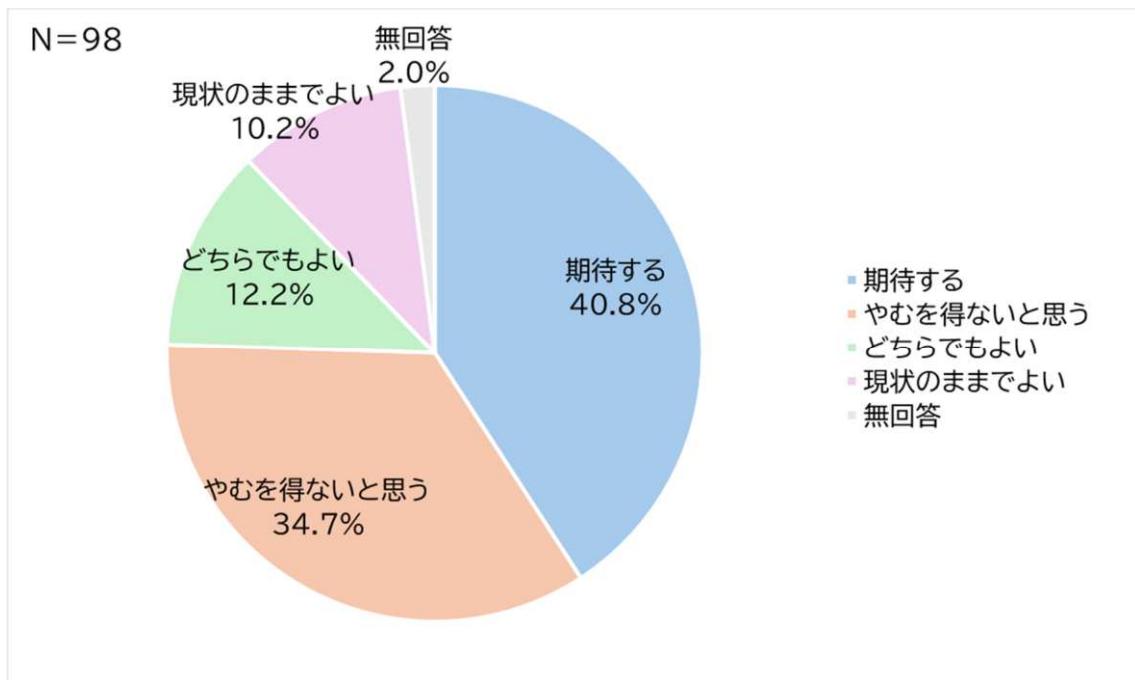


図16 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問7-1: 問7の回答の理由を記入してください。(自由回答)

- 問7で「期待する」と回答した理由をみると、「児童/生徒の減少に関する理由」が6件と最も多く、「やむを得ないと思う」と回答した理由も「児童/生徒の減少に関する理由」が11件と最も多くを占めました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問7で「期待する」と回答した理由
■児童/生徒数の減少に関する理由(9件)
・生徒数が減っていく中で学校の形も変わっていくと思うから。
・学校としてある程度の人数がいた方がいい。
・一体化することで人数も確保でき、敷地も広く使っていいのではないか。小学生のうちから中学生との関わり、異学年との交流も大切だと思う。

- ・少子化対策として妥当。
- ・現在高校生の息子も広畠小学校2年生から5年間クラス替えがなかったです。相性の悪いお子さんとずっと同じクラスでした。逆に、高学年になるとその子とも普通に友人になったようですが。
中学校は大根中学校に進みましたので、大根中学校区のより良い整備に大いに期待します！何か協力できることがあれば参加します。
ぜひ、引き続き地域市民にも回覧板等で募ってください。
- ・子供が少なくなっているから。
- ・少子化の為。
- ・少子化のため、効率的に再編することは必要。
- ・生徒数の減少、校舎の建替え等ある。

■その他の意見

- ・既存の制度から脱却して良くなるなら期待したい。
- ・校舎が古く、今の温暖化の適用が出来ていない。
新しい校舎になれば、子供のモチベーションも上がる。
- ・子どもが育ち社会の構成員となるために、現状より望ましい教育環境だと思われるで。
- ・先生の頭数も増えるし、子供の環境変化も低減すると思います。
- ・来たるべき未来に即した学校だから。
- ・義務教育学校を先行導入に伴い、転入者の増加や、地域が活性化すると良いと思うから。
- ・9年間を一環として学ぶ環境はいいと思う。公民館
- ・一貫した教育に期待しています。
- ・子供が安心して教育を受けられる環境が望ましいため。
- ・期待するが、教員が働きやすいことが、ひいては教育現場がより良いものとなり、子どものためとなると思う。そのため、現状の他の学校の教員と比べ、義務教育学校では業務量が減り、ストレスなく、働きやすい環境にする義務が行政にはあると思う。
- ・学校を取り巻く状況を改善し、これからを背負う子供たちの成長に期待します。
- ・子育て世帯は卒業したが今後の子供たちがよりよく育つために期待する。
- ・個別に維持していくのは難しいのではないか。ならば集約するしかない。
- ・スムーズに実施できることを希望する
- ・私は幼稚園より大根地区に居住し、自身の子どもを卒業しており、大変愛着がございます。
義務教育学校については動画での内容の通りだと思います。
- ・中学で統合する状況は広畠がよそ者感もありました。小学自体から生活を共にしていれば隔たりもなくなるかと思います。通学についてはぜひコミュニティバスを運行してい

ただし、高齢者が集う施設も検討しているのであれば、小田急線沿線に居住している高齢者は大根中が丘の上にあるためなかなか徒歩では行きづらいため、バスが運行していれば利用しやすくなります。

- ・時代に沿った取り組み。
- ・生徒にとっても働く先生方にとっても良い方向に向かうと思ったから。
- ・それぞれの個性を、区切りをつけないことで潰さずのびのび活かすことが出来るようになると思う。
- ・現状から打破する為に 新たな改革が必要と思われるから。
- ・安心して勉強が出来るのでは。
- ・新しくなる方が良い。

問7で「やむを得ないと思う」と回答した理由

■児童/生徒数の減少に関する理由 (19件)

- ・中1ギャップ対策と生徒数が減る。
- ・人口減少にともない対策が必用です。
- ・子供の数が少なくなっているので統合した方がいいのでは。
- ・生徒数、教員数減少傾向の為。
- ・子どもの数が激減しているから。
- ・子供が、少なくなり、小学校と中学校が一つになればと。
- ・学年ひとクラスでは仕方ない。でも中学から再スタートと切り替えも残したい。
- ・広畠小の児童数が少ない事（クラス替えがない）、中学校から大根小と広畠小の生徒が一緒になるので、様々な問題が起りやすかったことを考えると統合が望ましいと思う。
- ・子供がいない。
- ・児童・生徒数の減少のため。
- ・広畠小は人数が少なすぎだから。
- ・生徒数が減っているから。
- ・少子化。
- ・動画のように子供が少なくなっているので一体化するのは良いことと思う。が、学校までの距離が長くなる子も出てしまう。から「やむを得ない」。
- ・生徒数が少な過ぎるから。
- ・出生率が上がらないので仕方ない。
- ・児童数が減少しているため。
- ・今後も生徒数は減少し、教員への成りても少ないため 建物の老朽化や維持費もかさむため。
- ・生徒が少なければ統合するがよし。

■ その他の意見

- ・出身の広畠小学校がなくなってしまうのは残念。大根幼稚園もなくなってしまったし。しかし、これからのお子もたちのために良い方向に進んでほしい。
- ・小学校の統合は当然だか、義務教育学校については疑問もある。
- ・児童数の減少により統合は必然のことだと思います。だからといって、移民制度には反対です。
- ・広畠小学校の現状を考えると やはり統合してやっていく 他はないと思います。
- ・取り組みとしては良いが9年後では遅すぎる。
- ・動画にあったような理由です。
- ・全体的な課題を考えればそうしなければならぬのは納得できる。仮に大根小・中に統合するのであれば広畠学区の小学生たちの通学負担が増えるのが気がかり（とは言え現時点で大根小学校区の一部はすでに通学距離長いので…）。
- ・人口減で効率よくなるのでいいのでは。
- ・施設メンテナンスのしやすさ、管理人員ぶん人削減には有効。
公民館や図書館を共有できれば、大人と子供の交流も生まれると思う。

問7で「どちらでもよい」と回答した理由

- ・改革は必要だと思うから。
- ・懇話会や市にお任せします。
- ・動画の限りではあまりメリットを感じない。このようなアンケートは良い。引き続き地域住人の意見を繰り返ししっかり聞いて丁寧な説明があった上で決めて頂きたい。
- ・よく分からぬので。
- ・現役の方々が知恵を出し合って和合しながら決定していただく事を陰ながら応援します。
- ・必要ならやるべきだと思う。
- ・少子化は止められない

問7で「現状のままでよい」と回答した理由

- ・広畠小のきめ細かい指導を残して欲しいし進学校を目指すみたいでよくない 川崎地区で行っている所は 例えば中高一貫校の相模大野高校が変わったとか それぞれの学校の良さがあるので小中学校再編はしないで欲しい
- ・一体化が本当に子供たちのためになるのか？一体化は単なる行政上の経費削減策ではないのか？たんに広畠小学校の廃校を規定にした提案としか思えない。
広畠小学校のメリットを明確にすべきではないのか。具体的な対策を示すべきと思う。
- ・今の文科省(政府全体)が信用ならないから。
空き校舎が外資に売られ移民用の施設になると言う懸念(差別でなく区別)。私は日本人精神は日本人同士でしか育まれないとと思っている。

そもそも、～ギャップなど昔はなかった。教育そのものを見直しして戦前の教育を参考に精神面や自己肯定感を高める事に力を注ぐべきだと思う。欧米の教育方式を取りすぎて軟弱にさせている教育が問題。

- ・小中一貫校は、成長の差が激しい児童生徒が一堂に介することから様々な問題が生じると考えられます。小学校は小学校なりの指導の仕方、中学校は中学校の指導のあり方を個別にしっかりと取り組むべきだと考えます。
- ・遠くなる
- ・現在の公教育にはそもそも大きな問題があるため、その問題の本質を改善せず、見える部分を変えて解決を図っても効果は期待できないため。
インフラや制度整備など、余計な税金負担が増える本計画よりも、子供たちが公教育以外の選択肢を選べるようフリースクールへの補助金制度を作るなどを優先してほしい。
- ・通学距離が遠くなる。徒歩通学だと遠いのは不便である。

4) 新たな学校を整備するための適地

問8：新たな学校を整備する敷地はどちらがよいと思いますか。(単一回答)

○「大根小・中学校を1つにした敷地」が75.5%と大半を占めました。

○「広畠小学校の敷地」は10.2%に留まりました。

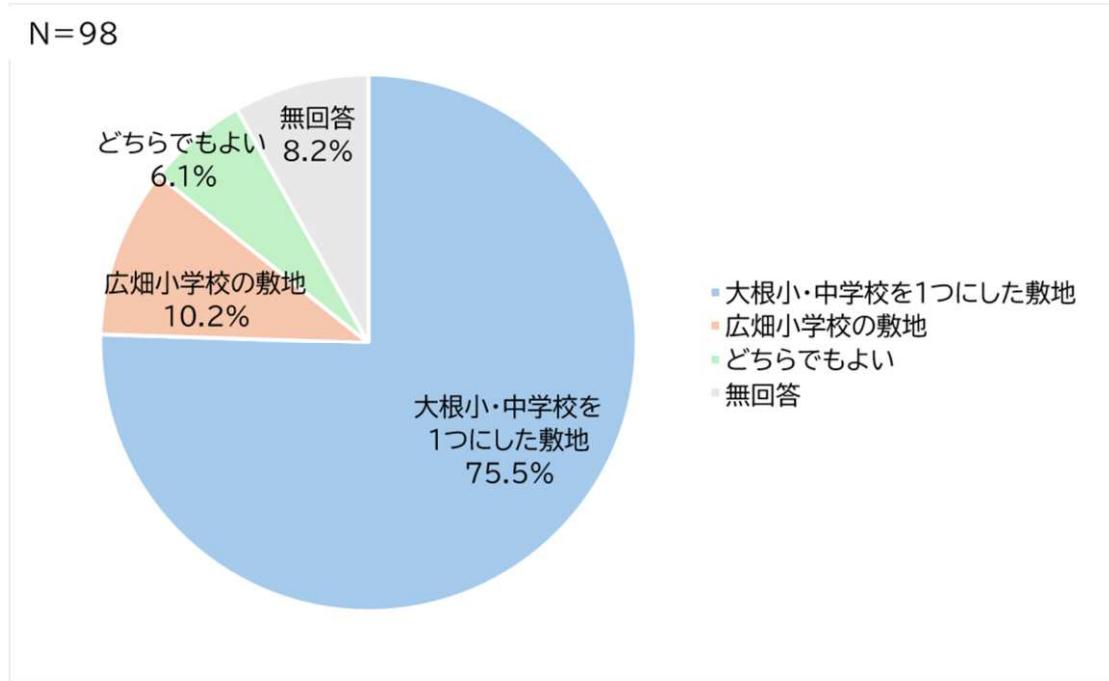


図17 新たな学校を整備するための適地

5) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問9：学校以外の公共施設（公民館など）との複合化についても、「地域のコミュニティ拠点になる」、「放課後の子どもの居場所となる」、「多世代の交流が活性化される」などの観点から期待する旨の意向が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。（単一回答）

- 「期待する」が 69.4% と最も多くを占め、大半の回答者が複合化に対し肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「学校と複合化する必要はない」は 16.3% を占めました。

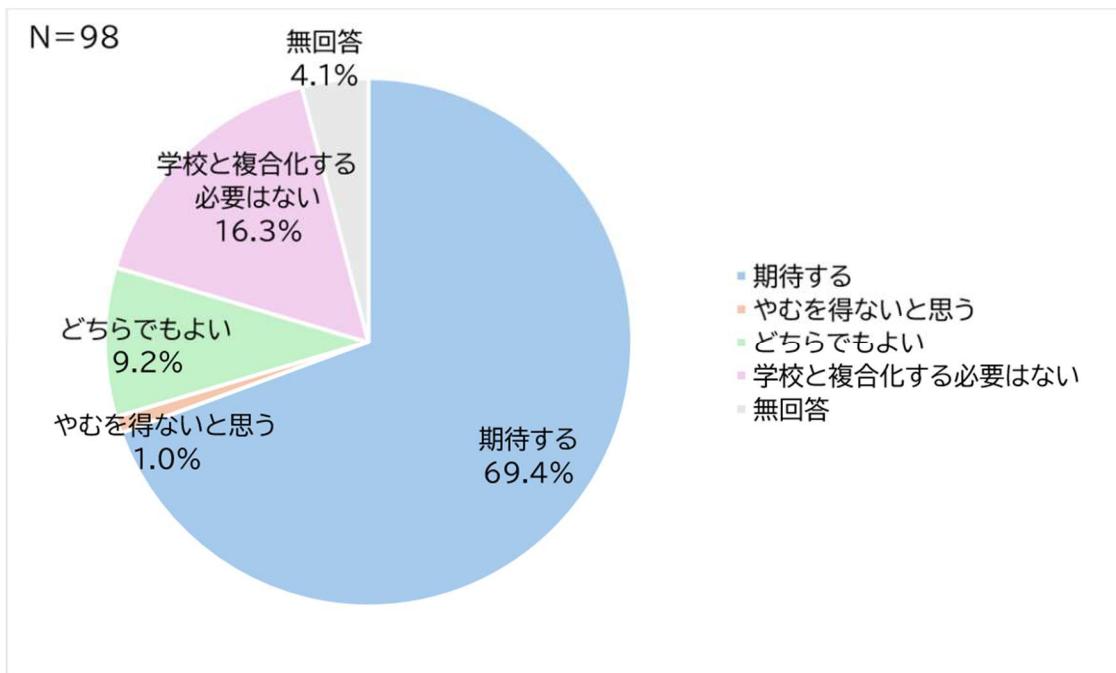


図18 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問9-1：問9の回答の理由を記入してください。（自由回答）

- 問9で「期待する」と回答した理由をみると、「交流の場の創出に関する理由」が6件、「子どもの居場所の創出に関する理由」が3件等がありました。
- 問9で「学校と複合化する必要はない」と回答した理由をみると、「防犯面の不安」が3件等がありました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問9で「期待する」と回答した理由
■交流の場の創出に関する理由（10件）
・放課後の子供居場所、多世代の交流。
・多世代間の交流に期待する。
・異世代交流は意義があると感じる。

- ・多世代の交流は素晴らしい。
- ・多世代の交流が活性化される。
- ・子供の居場所や他世代の交流の場となるため。
- ・地域と子供たちのつながりができる。
- ・色々な世代の方と関わる機会が少ないし、地域との関わりが子育てにおいても高齢の方にとっても大切だと思うから。
- ・多世代交流の活性化。
- ・様々な年代がともに歩めることは理想だと思うから。

■子どもの居場所の創出に関する理由（9件）

- ・放課後の子どもの居場所が少ないから。
- ・放課後の子供居場所、多世代の交流。
- ・子供の居場所や他世代の交流の場となるため。
- ・子供の居場所確保。
- ・放課後の子供の居場所がすごく良いと思う。
- ・子供の居場所は必要。様々なニーズ、事情を考慮し、多機能な施設が必要。中でも1対1の学習補助（ボランティアの協力）は必須。
また困窮家庭の為の食事の支援。
- ・子供の居場所はあった方が良い
- ・地域コミュニティの拠点になれば、放課後の子供の居場所が有り、多様な経験が出来ると思う。
- ・コミュニティの場は必要だが、放課後子どもがさわいだりゲームをしたりするような居場所になるのは違うと思うので？が難しい問題。だが居場所は必要かも。

■その他の意見

- ・子どもの安心につながるならいいと思う。
- ・拠点が1つになることで新しい関係性が築けると思うから。
- ・学校の空き教室や校庭をこれ迄通り子供や高齢者のための地域の交流会の場として利用するもは勿論のこと、公共施設の場としても公民館的にボランティアや趣味の団体に開放したらどうですか？セキュリティの面で生徒は帰宅後に限定するとかの制限が肝要かと思いますが。
- ・建物老朽化で災害が起きた場合避難場所だと不安。
- ・放課後子どもを迎えるのに同じ敷地内の方が安全。
子どもたちの様子が見られることは地域の大人にとっても良いことで、地域で子どもたちを育てていく気持ちにつながる。
- ・防災拠点としても必要だと思う

- ・障害者福祉施設、保育園、高齢者施設の複合も期待します！雇用にも繋がりますね。
- ・校舎や校庭の広さを、必要な大きさにすれば、公共施設も十分に余裕をもって設定できそうだし、期待される3点も実現出来そうです。
- ・大根小学校、中学校、大根公民館が、隣接している。
- ・地域のコミュニティは必要。
- ・色々なイベントとか一緒に出来るといい一びおお
- ・時間がかかると思うが、挙げられている観点が良いと思うから。
- ・共働き世帯が増加しているので、地域で子供達を見守れるような交流ができると良いと思うから。
- ・広畠ふれあいプラザの様な施設が良い。
- ・地域の活動の場としては期待しています。
- ・複合することで新しい可能性が期待できるが、新たな問題点も考えて置かなければならない。
- ・防犯とかの観点からみても全世代が協力できたら良いと思う。
- ・多様な教育の場を作る必要がある。
- ・昔は、幼稚園も学校の敷地内にあったと聞いてあります。ぜひ広畠に移動した幼稚園も一体化となれば、1年生の壁も克服できるのではないか。幼稚園児、学童児が同じ施設で放課後を過ごすということは保護者のお迎えの負担も軽くなるかと思います。
- ・最適化を図れる。
- ・大根公民館はエレベーターもなく2階に上がるのには高齢者は不便を感じています。他の地域の公民館から比べても使い勝手が悪いと思われます。複合化によってより良い公民館が生まれることを期待しています。
- ・プラザのように複合した場所が現在もあるので、より整備されれば住みやすい地域になる。
- ・核家族化などで高齢者と若い世代の考え方には違いが多く、お互いの立場をもっと知ったほうが良いと思う。
- ・幼児から高校生や成人、高齢者も利用でき、利用したくなるような複合施設が必要だと思う。
- ・地域住民が地元の自治体にもっと興味を持ってもらいたいから。
- ・今後、公民館や公共施設が老朽化して修復に税金が使われるようになるはずなので、複合化することでの余分な負担がかからず有効活用ができる。
- ・人々の動や生活状況などが肌で感じ取れる。
- ・10年後、20年後…その先の未来に向けて多世代の地域コミュニティの事を皆で考えること自体が素晴らしいことだと思います。
- ・効率よくなる。
- ・面白い取り組みだと思います、共働き世帯がもっと増えると思うので地域で子供たちの教育が出来るようになったり、高齢者の孤独死なども防ぐことが出来ると思います。

- ・多世代が集まる施設にした方が効率的かつ、活気のあり、回転数の多い施設となる。
- ・孤立する子育てを支援できると良いと思います。
- ・大根公民館も建替え時期、複合化もありだね。
- ・いいことだと思うが、駐車場が少ない。
- ・地域住民が孤立化しないための良い取り組みだと思う。
- ・必要性。

問9で「どちらでもよい」と回答した理由

- ・メリット、デメリットがあると思う。
- ・どちらでもよいので大根地区だと大根公民館になると思うが、活用ビジョンが現時点で明確に見えてないのでなんとも言えず。
- ・統一された方が良い。

問9で「学校と複合化する必要はない」と回答した理由

■防犯面の不安に関する理由（5件）

- ・不特定多数の人間が学校の近くにいるのは安心の反面、知らない人間に対する危機感がある。
- ・セキュリティの懸念。
- ・同じ敷地内にできることに関しては誰でも入れる為不審者対策が心配。
- ・池田小学校の事件を思うと不特定多数の人間が敷地内に入ることに不安感がある。但し、警備員等が配置される、もしくは侵入可能エリアが学校と公民館で明確に分かれているのであれば、期待してもいい。
- ・不特定多数の人が利用できることでセキュリティ面が心配。学校が苦手で行けない生徒が公民館等が学校と一緒にになってしまうと公共施設を居場所にできなくなる。

■その他の意見

- ・複合化とは上から目線で良くない 学校と公民館は違う役割があると思うので交流で十分。
- ・各学校によって条件は違う。学校の教育活動と独自性が損なわれる心配がある。
- ・色々な世代が交流するのはいいことだが、学校と複合化する必要は感じない。
今ある市役所の分署としての役割は継続しつつ、施設そのものの機能面を精査し（大根公民館は老朽化も目立つので建て替えも検討してもいいと思う）、いつでも誰でも立ち寄れる・利用できるところを目指したほうが現実的かと。
市役所の分署+児童館+ミニ体育館+調理室+会議室+多目的室といった感じなら、色々な世代に対応できるのでは？
- ・まずは義務教育学校、その結果をみて検討すればいいと思う。
大根地区は2学期制の導入、中学校の私服登校など、いつもテスト校になっている気が

する。新しい制度を検討する際の学区は、偏りのないようローテーションしているのでしょうか？

- ・大根中学校に三校統合し、大根小学校の校舎を大根公民館や地域ふれあい館などにすればいいかと。設備も整っているので、費用もおさえられるのでは？図書館もあるし。この地域も車が必須になってきてるので、校庭の一部を駐車場にするなど、臨機応変に対応できると思います。
- ・隣接するのはよいが、学校と公民館は明確に区別するべき。
- ・子供達のコミュニティーに敢えて入って行く必要はない。自分で考える力が失われていると感じる。
- ・一体化すれば、公共施設が不便となる恐れが大。

6) その他、新たな学校づくりについて期待すること

問10: その他、新たな学校づくりについて、今後の整備に期待するございましたら、記載してください。(自由回答)

○寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

- ・子どもファーストで改革してほしい。
- ・子供が楽しく通えるようにして欲しい。
- ・子ども達の健やかな成長に繋がる取り組みに大いに期待します。楽しみに見守ってます。
- ・将来の子供達の為に、良い方法を、検討して欲しいです。
- ・普通級、支援級でなく、クラスに馴染めない中間的なクラスの設立。
- ・共働き世帯が多くなりつつ今、学童保育等の課外時間も見てもらえる制度、設備が充実していく欲しいと思います。
- ・学校方式でなく昔の寺子屋方式で子供達の得意なものを伸ばす様な教育が良いと思う。全部、横並びにすると才能が潰れる。これには学校と家庭のこれまで以上の協力不可欠。大人も子供と一緒に学ぶ(教科と言う狭い括りではなく自治体から世界情勢まで)。学びを面白いと思わせる事が出来たなら、進学も期待にしかならないはずだと思う。この件はもっと深掘りしてもらいたい。形だけ整えても中身がなければ税金が勿体ない。
- ・日本や地域の文化を大切にする、教育をして欲しい。
- ・広畠小学校の敷地の利用、地域の拠点としてアイディアを出し合って活気ある場所にして欲しい。
- ・整備して使わなくなった敷地を行事等の際の駐車場として開放してもらいたら有り難いと思います。
- ・公共施設の複合化とともに、一体化による空き校庭を、子どもが自由に放課後遊べる広場として、提供して欲しいです。共働きが多い今、そこに行けば誰かしら仲間に会えるような場が必要だと思います。ドラえもんに出てくる土管のある広場のように。ボール遊びはダメ等禁止事項が多く行き場がない子もいます。未広グラウンドのように、高いネットをはりめぐらせて球技も出来るようにして欲しいです。
- ・大根小と広畠小の学区の再編成を考えることが先と思える。現在の区割りには問題がある。委員の皆さんには、現状をしっかり確認していただきたい。
- ・団塊を超えた交流の場を備えて欲しい。
- ・動画の説明についてですが、長すぎると思います。もっと簡潔に願います。
- ・今後学校を作るにあたり、児童、教職員、公民館等の利用者が増えるのであれば、校内だけでなく周辺の道路状況にも目を向けて、地域住民が安全、かつ使いやすいように整備するべきだ。
- ・今回のように検討状況を隨時発信して貰いたい。
- ・新しく学校施設を建設する場合、災害があった場合の避難施設になることを前提に計画をしていただきたい。体育館の空調管理はもちろん、校舎のエレベーターの設置は必須

かと思います。今の施設はバリアフリーではないため、車椅子での移動などが実質無理な状況です。

それと、一体化しても子ども間でのいじめ問題はなくならないので、旧大根幼稚園で行っているフリースクール制度の充実も期待しております。

ぜひ検討会のメンバーを一般から公募し、様々な分野の住民の声を集めていただければと思います。

- ・広畠小学区までの距離は小学校低学年にとっては遠い可能性があるので、バス通学に。スクールバスではなく、既存の神奈中バスで。他の学区で経験があるので(だいぶ昔なのですが)問題ないかと思います。三~四年生あたりから徒歩通学を開始すれば体力もあり、友人との行き帰りも経験できるので良いかと。
- ・前向きな姿勢を忘れずに知恵を出すこと。
- ・共働きの家庭が増えていること 不登校の児童が多くなってきていること学習障害の子供が多く 目立つようになってきたこと これらを考えて今までの教育とは異なる学校制度が確立されることを願っています。
- ・スクールバスが必要。
- ・老人ホームと学校の複合施設。子供達と高齢者との交流は学びや癒しになる。
- ・視野を広げて他の県、外国の良いところを取り入れて「義務教育」にとらわれず誰でも通える学校を作つて欲しいです。
- ・広々とした誰でも勉強できるスペース。
- ・中学校は、制服にしてほしい。
- ・整備の進捗を継続的に公開してほしい。
- ・自閉症児も含めて、それぞれの持つ才能、個性を伸ばせるような教育方針、専門知識のある教師の配置を望む。
- ・個性ある学校にしてほしい。(文化、スポーツ、等)
- ・学校周辺の道路を整備すること。
大根中、大根小を中心に考える際、グランドや体育館などの広さは確保して欲しい。大根小は狭いので。
- ・若者が少しでも健全に育つ、魅力的な学校整備をよろしくお願ひ致します。
- ・お隣の平塚市の金目・真田地区(みずほ小、大根中の学区)の一部を取り込んで生徒数増やせたら、と思うこともあります。(市を跨いでの取り組みとなるとさらに課題が増えそうなのは承知の上で)
- ・中学生と小学生の校庭での使い方は分けた方が良いと思う
- ・全校 freeWiFi 設備。特に夏休み等長期に学校が休みの時の食事の提供ができる設備と体制(地域ボランティアの活用)。
家庭の事情が学業成績に顕著に表れる事の無いよう地域ボランティアとの連携。
- ・9月入学、英会話の強化。
- ・低学年、高学年に分けて遊べる場所がほしい。

- ・大根学区の通学路は、現在スクールゾーンが指定され交通が規制されています。私はそのスクールゾーン内に住んでおり、友人や親族の車が時間内に通行できず不便な状況です。またルールを守らず、不法に通行する車も見受けられます。学校の再編は賛成ですが、併せてこどもたちが安全に通学できる道路も整備していただき（道路の拡張、歩道の整備）、スクールゾーンによる交通規制をなくすような、学校直近に暮らす住民にも共存できる環境を自治体として整備して頂くことを期待します。
- ・いろいろな所を参考にして後悔しない最新の校舎にして下さい。
- ・大根地区全体をみると大根小学校、中学校の近くに鶴巻小と中学が近くにあるので、広畠小の敷地に作る方が、区分けがわかりやすいのではないかと思います。
- ・海老名市のようなインクルーシブ教育を期待します。
- ・近くに東海大学があり、子供、学生、地域の大人がうまく交流出来る工夫をしてほしい。
- ・統一すると足、スクールバス等も考えていただきたい、子供が少ない事は？？事？国で考えて頂きたい。
- ・図書館が涼しいのでここエリアに出来たら嬉しい。